

備前市事務事業評価表

事務事業名	市営・福祉バス運行事業	コード	担当課	企画課 企画振興班
		01-01-12-01	担当者	金光 亨
事業実施期間	S61年度～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	公共交通		
	施策	バス路線網と運行の充実		
		電話	0869-64-1871	

事業について	
目的	吉永地区での児童、生徒、高齢者等の交通手段を持たない人が、通勤・通学・通院・買物等のために移動する手段を確保する。また、市営バスは、スクールバスとしても位置づけている。
対象（誰のために）	交通弱者（児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人）、路線バス運行地域住民
内容	旧吉永町で実施の事業で、吉永地区には、市営バス路線が2、日生運輸路線が1ある。スクール利用、高齢者・障害者等の利用は、無料となっていることから福祉バスという呼び名がついている。

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
年間利用者数(推計)				
市営バス和意谷線	5,800	人		
市営バス三国東西線	7,400	人		
備前バス八塔寺線	8,100	人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	10,425	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等				
	人件費	4,705	受益者負担		人件費		受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	15,130	一般財源等	15,130	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.45	人		人
結果指標①	年間利用者数			
結果指標量	21,300			
単位	人件費			
対前年比	—		0.00%	
事業費	10,424,400	円		円
単位当たりコスト①	489	円		円
結果指標②	委託料			
結果指標量	10,425,000			
単位	円			
対前年比	—		0.00%	
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	年間利用者数	式又は説明	実態調査及び報告数値による
	17年度		
成果指標量	21,300		
対前年比	—		0.00%
到達目標値		到達目標年度	

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：市営バス運行事業に関する条例
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	市営路線は、スクールバスが主であるが、利用者の固定化がみられることからバス運行が適当なのか検討を要する。また、路線バスは、無料乗車に対しその額の補助をするのが妥当であることから、今後検討する。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	市営バスのタクシー化	平成19年度	利用者には、自宅まで可能。経費も安くなる。
効率性	大又～八塔寺間の予約システム化	平成19年度	運転する必要がなくなるので、経費が安くなる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。